

2023年度 決算・財政状況

問 財政課 ☎56-0606

2023年度の決算状況と実施した主な事業等をお知らせします。 ※各項目の計数は、表示単位未満を四捨五入したものであり、合計と一致しない場合があります。

歳入

会計名	2023年度	2022年度	差引	増減率
一般会計	240億7,255万円	246億5,958万円	△5億8,703万円	△2.4%
特別会計	90億7,391万円	87億6,216万円	3億1,175万円	3.6%
企業会計	17億8,417万円	16億6,000万円	1億2,417万円	7.5%
合計	349億3,064万円	350億8,174万円	△1億1,511万円	△0.3%

一般会計の歳入決算額は減少(5億8,703万円)し、市税は増加(3億1,173万円)しました。

市税収入のうち、個人市民税は所得額の増加により1億7,511万円(3.4%)、固定資産税は1億2,740万2千円(2.5%)増加しました。

歳出

会計名	2023年度	2022年度	差引	増減率
一般会計	231億7,758万円	237億6,294万円	△5億8,536万円	△2.5%
特別会計	89億4,600万円	85億891万円	4億3,709万円	5.1%
企業会計	21億9,141万円	22億1,854万円	△2,713万円	△1.2%
合計	343億1,499万円	344億9,039万円	△1億7,540万円	△0.5%

一般会計の歳出決算額は減少(5億8,536万円)しました。総務費は2022年度の普通財産の売却益を基金へ積み立てた費用の皆減等により減少(15億1,953万円)したほか、民生費は民設保育園整備に対する費用補助や放課後等デイサービスの利用増加等により増加(5億2,370万円)しました。

そのほか、以下の新規事業を実施しました。



民間保育施設整備事業
(3億8,728万円)
← 学校情報機器整備事業
(9,648万円)



← 香流川真行田地内
ポケットパーク整備事業
(1,002万円)

財政健全化関連指標

健全化判断比率	2023年度	2022年度	早期健全化基準
実質赤字比率 一般会計等における赤字の割合	—	—	12.90%
連結赤字比率 全会計における赤字の割合	—	—	17.90%
実質公債費比率(3か年平均) 財政規模に占める市債等の割合	1.7%	0.0%	25.00%
将来負担比率 将来財政を圧迫する可能性を示すもの	—	—	350.0%

資金不足比率	2023年度	2022年度	早期健全化基準
下水道事業会計	—	—	20.0%
公園西駅周辺土地地区画整理事業特別会計	—	—	20.0%

※実質公債費比率(3か年平均)を除き、負数の場合は表示されません。

なお、早期健全化基準を上回ると厳しい財政状況とされ、自主的な改善を要します。

長久手市はいずれの指標も健全ですが、財政構造の弾力性を示す「経常収支比率」は、2023年度で94.7%と高い状態が続いています。限られた予算の中で市民ニーズに合った持続可能な行財政運営を目指すため、事業総点検を行っています。